

佐治町総合支所整備（耐震化）の推進について

今年度、佐治町総合支所の耐震化に向けて次の考えを基に調査・検討を行います。

1 現況

	建築年	築後 (H27)	構造	耐震対策	各階面積	延床面積	敷地面積	
佐治町総合支所	S46	44年	RC造3階	Is値0.43	1階	981.56㎡	1,434㎡	5,077㎡
					2階	444.14㎡		
					3階	8.64㎡		
							借地:1,881千円/年	

- ・庁舎は耐震診断結果が基準¹（Is 値 0.6）を下回っています。
- ・庁舎、延床面積 1, 4 3 4㎡（講堂約 4 2 0㎡含む）の内、未使用面積が約 4 0㎡（2 F）
- ・借地（6,797.52㎡）

2 近隣施設の状況

	建築年	築後 (H27)	構造	耐震対策	各階面積	延床面積	敷地面積	
佐治町中央公民館	S59	31年	RC造3階	新耐震基準	1階	680.40㎡	1,548㎡	592.44㎡
					2階	639.15㎡		
					3階	229.17㎡		
							市有地	
							一部借地	

新耐震基準の佐治町中央公民館の活用が考えられます。

3 今後の進め方

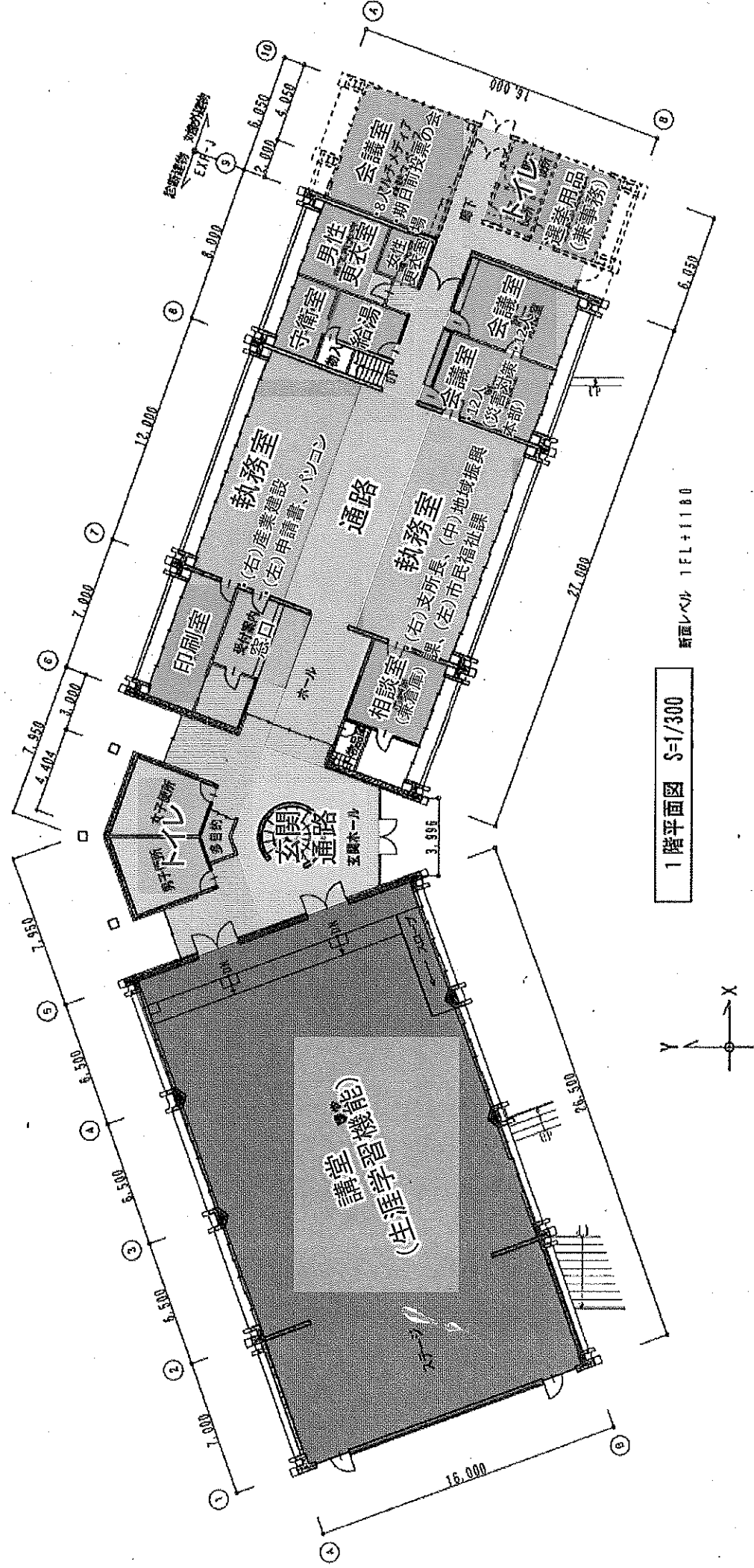
現庁舎の耐震改修、新築、佐治町中央公民館への複合化について、整備費及び維持管理経費などの比較検討を行います。

- ・防災機能の向上
- ・ユニバーサルデザイン等の環境づくり
- ・施設の効率的利用
- ・借地の解消
- ・講堂

<予定>

平成 27 年 5 月～12 月 総合支所耐震化基礎調査を実施
平成 28 年 1 月～ 調査結果を基に整備方針の検討

¹ Is 値：構造耐震指標といわれ、当該建築物に耐震性があるかないかを図る指標
Is 値が 0.6 以上のときに、その建物が安全であるといえます。



特記事項

- ・備蓄倉庫が別にあり(豪雪センター)
- ・車庫が別にあり
- ・県民の建物100選(設計者:安田臣[かたし])

- 執務室(執務室、受付スペース、待合スペース)
 - 倉庫(書庫、倉庫)
 - 諸室(会議室、相談室、印刷室、守衛室、休憩室、トイレ等)
 - 通路(玄関、廊下、階段、エレベーター等)
 - 防災(災害対策スペース、備蓄倉庫、防災無線室、通信室)
- ※災害対策スペースは平時は会議室や市民交流スペースとして使用

	建築年	築後	構造	耐震対策	各階面積	延床面積
佐治町総合支所	S46	44年	RC造3階	Is値0.43	1階 981.56㎡	1,434㎡
					2階 444.14㎡	
					3階 8.64㎡	

